

【令和7年度 家庭科授業改善推進プラン】

家庭科で身に付けさせたい力・目指す生徒像

実践的・体験的な学習活動を通して、家族と家庭の役割、生活に必要な衣、食、住、消費等についての基礎的な理解と技能を養うとともに、それらを活用して課題を解決するために、工夫し創造できる能力と実践的な態度の育成を目指している。

学習状況及び課題

	1 学年	2 学年	3 学年
学習状況	- 授業に集中して意欲的に取り組んでいる。 - 裁縫の基礎・基本が定着していない生徒がいる。 - 裁縫の技術的・体験的な差が、進捗状況に出て、個別指導の必要な生徒が、見受けられた。 - 提出物を期限内に出せない生徒がいる。	- 授業に集中して意欲的に取り組んでおり発言や挙手も多い。 - 調理の経験が乏しい生徒が多いが食への関心は全体的に高い。 - 提出物を期限内に出せない生徒がいる。	- 授業に集中して意欲的に取り組んでいる。 - 小・中学校で学んだ知識や技能を活かした制作のプランを立て、実践することができる。 - 提出物を期限内に出せない生徒がいる。
指導上の課題	- 衣住に関心をもち、課題をもって実生活上、工夫し計画を立てて実践できる様にすること。 - 裁縫の基礎・基本を身に付けること。	- 衣食住に関心をもち、課題をもって実生活上、工夫し計画を立てて実践できる様にすること。 - 衣食住生活を家庭で実践できるような課題を設定する。	- プライバシーに配慮した上で、自分の成長と家族や家庭生活との関わりについての学習活動に取り組ませる必要がある。 - 課題を家庭で実践できるよう促す必要がある。

改善プラン

	1 学年	2 学年	3 学年
学習面	- 提出期限を守る意識を高める。 - 家庭で実践する意欲を高める。 - 裁縫の基礎・基本の定着を図り、自分の生活に役立つものを作ることができるようにする。	- 提出期限を守る意識を高める。 - 家庭で実践する意欲を高める。 - 裁縫の基礎・基本の定着を図りさらに作品にオリジナリティを加え自分の生活に役立つものを作ることができるようにする。	- 生活の中の課題は何か、解決するためにどんなことができるのか具体的に考えられる力を付けるようにする。 3年間の学習を生活の自立と結び付けて考えられるようにする。
指導面	- 学習面、製作の進度に遅れを取る生徒に個別に声を掛け、指導をする。 - 早めに提出期限を提示し、期限を過ぎてしまう心配のある生徒に個別に声を掛ける。 - 自分自身の課題と捉え、よりよい生活にするための工夫ができるように、発問を工夫したり、発言を促したりする。	- 学習面に遅れがある生徒に個別に声を掛け、指導をする。 - 早めに提出期限を提示し、期限を過ぎてしまう心配のある生徒に個別に声を掛ける。 - 実習前後の授業で実生活との結び付きを意識させ、取得した知識や技術をどう生活に生かすか考えさせる。	- 毎回の授業で進度を確認させ計画的に進めるよう指導する。 - 早めに提出期限を提示し、期限を過ぎてしまう心配のある生徒に個別に声を掛ける。 - 創意工夫できる作品製作を促す。

評価

① 振り返りシートによる達成度評価	② 各学期の定期テストの結果
③ 実習による技能の習得	④ ワークシート等による実生活への発想及び展開